

平成 29 年 10 月 23 日付【日本水道新聞】

<水コン協臨時総会>

公益社団移行へ定款変更 30 年 4 月 1 日に移行予定



野村会長



定款の変更など承認

全国上下水道コンサル
タント協会（野村喜一会
長）は9月28日、第35回
臨時社員総会を開き、第
34回定時社員総会で公益
社団法人への移行が承認
されたのに伴う定款の変
更、規則の改正について

水コン協
臨時総会

公益社団へ定款変更 30年4月1日に移行予定

定款の変更では、上下
水道コンサルタントの資
質向上・育成を図り、上下
水道の発展・事業継続に
貢献することで社会福祉
の増進に寄与することを
目的に掲げたほか、合わ
せて事業内容などについ
ても修正を加えた。

野村会長は、臨時総会
後に記者会見を開き、「当
協会会員への発注者はほ
ぼ地方自治体で、公益社
団への移行には安心感を
抱いていただける。省庁

からの認知度も向上し、
長期的に見れば会員の利
益にもつながる。今まで
以上に事業が一般市民の
方々と密接になるが、講
演会や講習会のほか、日

Pに掲載している諸資料
も一般向けに広げてい
く。公益社団になるから
には、より一層の社会的
責任を果たしていきたい
」と述べた。

水コン協では平成23年
11月に一般社団へ移行す
る際、公益社団への移行
を「他協会の動向も踏ま
えて改めて検討する」こ
とにしてしたが、28年5
月の理事会で発議があ
り、公益社団への移行を
協議していた。

その結果、水コン協が
将来的な既存業務減少や
コンサルの役割・責任の
変化、新たな担い手確保
などの中長期的な課題を
踏まえて活動していくに
は、公益社団へ移行する
ことが活動領域の拡大・
発展、会員の地位向上に
つながるとし、第34回総
会で移行を審議、承認し
ていた。